

白山公園の散歩

私が住む神戸の下町には公園がほとんどなかった。しかし阪神淡路大震災復興後、大量の公園が造られた。特に消失・倒壊した地域が多かった長田区は顕著であった。

緑豊かな公園は人に潤いと癒しを与えてくれる。特に年配者を中心にジョギングやウォーキングする姿をよく見かける。健康志向の意識は高い。更にテレビゲームをはじめ部屋に閉じこもりがちなお子供たちが多い中、公園で走り回り元気に遊んでいる姿を見ると何故か微笑ましく見えてくる。日向ぼっこをしながら子育てをする母親たちの交流。



新潟市の中心地に白山公園があった。1873(明治6)年に最初太政官布告により日本で最初に開設された25箇所の都市公園の一つ。周りには新潟市役所、陸上競技場、体育館、芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館、白山神社、そして近くに大河・信濃川が流れていた。公園は高い木々に囲まれ池と滝、そして梅林、桜、つつじ、藤棚、ボタン園、蓮、紅葉の銀杏にもみじ四季折々の美しい花々が咲き誇る。

公園の中に柴犬の銅像があった。「忠犬タマ公」である。東京・渋谷の「忠犬ハチ公」ほど有名ではないが、昭和の初めに実在した犬である。刈田吉太郎さんが飼っていた猟犬で、雪崩で生き埋めになったところから救出。更には遭難した一行4人の命を救う。

今や空前のペットブーム。公園内で犬を連れて散歩する人をよく見かける。喜ぶ犬を見ていると人間の優しさが伝わってくるようだ。

撮影2013年春

